



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成29年10月31日

上場会社名 京成電鉄株式会社
 コード番号 9009 URL <http://www.keisei.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 敏也
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部連結・受託課長 (氏名) 杉森 英一
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日 配当支払開始予定日 平成29年12月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

上場取引所 東

TEL 047-712-7100

平成29年12月4日

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	125,759	3.4	17,955	4.1	26,925	6.6	19,752	3.9
29年3月期第2四半期	121,580	△3.2	17,253	4.0	25,263	5.9	19,005	6.7

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 21,097百万円 (8.3%) 29年3月期第2四半期 19,474百万円 (7.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	116.69	—
29年3月期第2四半期	112.27	—

(注) 平成28年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合をもって株式併合を実施したことに伴い、1株当たり四半期純利益については、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	801,242	352,271	42.6
29年3月期	795,447	332,344	40.5

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 341,172百万円 29年3月期 322,067百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	3.00	—	8.00	—
30年3月期	—	7.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成29年3月期の1株当たり年間配当金合計については、株式併合を実施したことに伴い、「—」と記載しております。当該株式併合を踏まえて換算した平成29年3月期の1株当たり年間配当金合計は、14円となります。

3. 平成30年 3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	259,000	5.4	30,500	1.5	45,000	△4.4	32,000	△10.4	189.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期2Q	172,411,185 株	29年3月期	172,411,185 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

30年3月期2Q	3,142,133 株	29年3月期	3,131,018 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期2Q	169,273,816 株	29年3月期2Q	169,281,061 株
----------	---------------	----------	---------------

(注) 期中平均株式数については、前連結会計年度の期首に株式併合が行われたと仮定し、算定しております。

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、連結業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2. 当社は、平成29年11月15日(水)に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

(参考)

平成30年3月期の個別業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	81,500	6.1	18,100	12.4	21,800	17.5	15,100	9.3	87.92

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P2
(1) 経営成績に関する説明	P2
(2) 財政状態に関する説明	P3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P4
(1) 四半期連結貸借対照表	P4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P6
四半期連結損益計算書	P6
四半期連結包括利益計算書	P7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P8
(継続企業の前提に関する注記)	P8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P8
(セグメント情報)	P8
3. 補足情報	P9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済対策等を背景に企業収益や雇用情勢が改善していることに加え、個人消費が持ち直しつつあるなど、緩やかな回復基調で推移いたしました。

このような状況の中で、当社グループは、全事業にわたり積極的な営業活動を展開するとともに、より一層の経費削減に取り組むなど、業績の向上に努めたほか、「BMK（ベストマナー向上）推進運動」にも引き続き取り組み、お客様サービスの向上を図ってまいりました。

その結果、営業収益は1,257億5千9百万円（前年同期比3.4%増）となり、営業利益は179億5千5百万円（前年同期比4.1%増）となりました。経常利益は269億2千5百万円（前年同期比6.6%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は197億5千2百万円（前年同期比3.9%増）となりました。

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

<運輸業>

鉄道事業では、安全輸送確保の取り組みとして、高架橋の耐震補強工事等を実施したほか、日暮里駅へのホームドア設置工事を推進いたしました。

大規模工事については、葛飾区内の押上線連続立体化工事において、仮下り線工事を推進したほか、東京オリンピック・パラリンピックを控え、お客様サービスの向上を図るため、京成上野駅のリニューアル工事に着手いたしました。

営業面では、韓国の仁川国際空港とソウル市内を結ぶ空港鉄道株式会社と協力して相互に企画乗車券の販売を開始したほか、成田空港第1ターミナル内に新設されたトラベルセンターにおいて、新たに訪日外国人向け企画乗車券を発売するなど、各種営業施策を実施いたしました。

バス事業では、一般乗合バス路線において、千葉市内等で新規路線の運行を開始したほか、既存路線の系統新設等を実施いたしました。高速バス路線においては、「東京シャトル」のお客様500万人達成を記念した式典を開催いたしました。また、成田空港～日光間の運行を通年で開始したほか、武蔵浦和～池袋～東京ディズニーリゾート間の路線を新設するなど、お客様の利便性向上を図りました。

タクシー事業では、スマートフォン用タクシー配車サービスの英語版「COME ON TAXI（カモンタクシー）」の提供を開始し、訪日外国人の利便性向上に努めました。

以上の結果、訪日外国人増加の影響等により、営業収益は745億2千8百万円（前年同期比3.9%増）となり、営業利益は139億1千8百万円（前年同期比2.3%増）となりました。

<流通業>

百貨店業では、新規ブランドを導入したほか、つくば市内において販売イベントを開催するなど、収益の拡大に努めました。

ストア業では、リブレ京成新柴又店をリニューアルオープンしたほか、各種キャンペーンを実施するなど、集客を図りました。

以上の結果、営業収益は340億5百万円（前年同期比0.1%増）となりましたが、営業利益は3億3千4百万円（前年同期比23.3%減）となりました。

<不動産業>

不動産販売業では、今年度末に引き渡し予定の中高層住宅「サングランデ ザ・レジデンス千葉（ウエストレジデンス）」を全戸完売したほか、来年度中の引き渡しに向け、中高層住宅「サングランデ津田沼」を販売いたしました。

不動産賃貸業では、曳舟高架下施設の建設を推進し、一部商業施設等が稼働いたしました。また、八千代市八千代台東及び葛飾区東新小岩の賃貸施設等を取得いたしました。

以上の結果、営業収益は85億7千4百万円（前年同期比5.8%増）となり、営業利益は31億2千2百万円（前年同期比11.7%増）となりました。

<レジャー・サービス業>

ホテル業では、宿泊主体型ホテル業を運営する新会社「ケイ・アンド・アール・ホテルデベロップメント株式会社」を設立いたしました。また、京成ホテルミラマーレにおいて、開業15周年を記念した各種プランを企画するなど、新規顧客の獲得に努めました。

旅行業では、各種キャンペーンを実施するなど、集客及び販売の強化に努めました。

しかしながら、営業収益は43億3千3百万円（前年同期比9.6%減）となり、営業利益は1千5百万円（前年同期比74.4%減）となりました。

<建設業>

建設業では、鉄道施設改良工事やビジネスホテルの新築工事等を行ったほか、新規受注先の拡大に努めました。

以上の結果、営業収益は87億4千1百万円（前年同期比15.6%増）となり、営業利益は3億8千5百万円（前年同期比22.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産合計は、前期末比57億9千5百万円（0.7%）増の8,012億4千2百万円となりました。これは、持分法適用会社株式の増加により「投資有価証券」が増加したことによるものです。

負債合計は、前期末比141億3千1百万円（3.1%）減の4,489億7千1百万円となりました。これは、「1年内償還予定の社債」が減少したことによるものです。

純資産合計は、前期末比199億2千6百万円（6.0%）増の3,522億7千1百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により「利益剰余金」が増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の連結業績予想は、第2四半期までの業績などを踏まえ平成29年4月28日に公表しました通期業績予想を変更しております。

運輸業の鉄道事業において、成田空港輸送が想定を上回ることを見込むことなどから、営業収益は2,590億円（前回予想比0.4%増）と、従来予想から11億円引き上げております。

これに伴い、営業利益、経常利益についても、従来予想を引き上げております。

※業績予想につきましては、発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

通期の見通し

(単位：百万円、単位未満切捨)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
今回発表予想	259,000	30,500	45,000	32,000
前回発表予想	257,900	29,500	44,300	32,000
増減額	1,100	1,000	700	—
増減率 (%)	0.4	3.4	1.6	—

※セグメント別の通期見通しについては、添付資料10ページ「平成30年3月期 通期業績予想」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,483	25,112
受取手形及び売掛金	19,434	17,998
分譲土地建物	5,571	6,161
商品	2,314	2,215
仕掛品	764	1,457
原材料及び貯蔵品	2,332	2,535
繰延税金資産	1,892	1,962
その他	40,372	38,257
貸倒引当金	△46	△31
流動資産合計	96,118	95,670
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	270,354	267,287
機械装置及び運搬具（純額）	18,964	18,878
土地	146,414	148,303
リース資産（純額）	30,973	29,481
建設仮勘定	19,835	20,998
その他（純額）	2,035	1,938
有形固定資産合計	488,576	486,888
無形固定資産		
リース資産	1,491	1,415
その他	9,574	9,339
無形固定資産合計	11,066	10,754
投資その他の資産		
投資有価証券	184,091	192,479
長期貸付金	624	619
繰延税金資産	11,139	11,017
その他	4,598	3,829
貸倒引当金	△908	△144
投資その他の資産合計	199,545	207,801
固定資産合計	699,187	705,444
繰延資産	140	127
資産合計	795,447	801,242

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,398	14,170
短期借入金	55,540	61,318
1年内償還予定の社債	10,000	—
リース債務	4,138	4,118
未払法人税等	4,791	5,483
前受金	47,451	51,143
賞与引当金	2,812	2,964
役員賞与引当金	41	14
その他	31,943	38,907
流動負債合計	176,120	178,122
固定負債		
社債	40,000	40,000
長期借入金	127,968	114,698
鉄道・運輸機構長期未払金	55,254	53,810
リース債務	19,829	18,410
繰延税金負債	1,838	1,870
役員退職慰労引当金	384	321
退職給付に係る負債	30,961	31,087
その他	10,746	10,651
固定負債合計	286,982	270,849
負債合計	463,102	448,971
純資産の部		
株主資本		
資本金	36,803	36,803
資本剰余金	28,533	28,533
利益剰余金	254,307	273,061
自己株式	△2,036	△2,050
株主資本合計	317,608	336,348
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,491	4,793
繰延ヘッジ損益	△70	△32
退職給付に係る調整累計額	37	62
その他の包括利益累計額合計	4,458	4,824
非支配株主持分	10,277	11,098
純資産合計	332,344	352,271
負債純資産合計	795,447	801,242

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業収益	121,580	125,759
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	86,869	90,649
販売費及び一般管理費	17,457	17,154
営業費合計	104,326	107,803
営業利益	17,253	17,955
営業外収益		
受取利息	80	70
受取配当金	274	156
持分法による投資利益	9,057	9,686
雑収入	685	679
営業外収益合計	10,097	10,592
営業外費用		
支払利息	1,798	1,375
雑支出	289	246
営業外費用合計	2,087	1,621
経常利益	25,263	26,925
特別利益		
工事負担金等受入額	381	407
固定資産売却益	118	1
その他	30	1
特別利益合計	530	409
特別損失		
事業撤退損	—	420
固定資産圧縮損	378	394
固定資産除却損	182	126
その他	0	64
特別損失合計	561	1,005
税金等調整前四半期純利益	25,232	26,329
法人税、住民税及び事業税	4,976	5,514
法人税等調整額	221	83
法人税等合計	5,197	5,597
四半期純利益	20,034	20,731
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,028	978
親会社株主に帰属する四半期純利益	19,005	19,752

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	20,034	20,731
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△110	13
退職給付に係る調整額	3	21
持分法適用会社に対する持分相当額	△453	331
その他の包括利益合計	△560	366
四半期包括利益	19,474	21,097
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	18,444	20,118
非支配株主に係る四半期包括利益	1,029	978

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						計	調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2
	運輸業	流通業	不動産業	レジャー・ サービス業	建設業	その他 の事業			
営業収益									
(1) 外部顧客に対する 営業収益	71,278	33,670	5,708	3,677	5,963	1,282	121,580	—	121,580
(2) セグメント間の内部 営業収益又は振替高	476	298	2,396	1,115	1,601	851	6,740	△6,740	—
計	71,755	33,969	8,104	4,793	7,565	2,134	128,321	△6,740	121,580
セグメント利益 又は損失(△)	13,609	435	2,795	62	315	△6	17,212	40	17,253

(注)1 セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						計	調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2
	運輸業	流通業	不動産業	レジャー・ サービス業	建設業	その他 の事業			
営業収益									
(1) 外部顧客に対する 営業収益	74,046	33,786	5,864	3,191	6,576	2,291	125,759	—	125,759
(2) セグメント間の内部 営業収益又は振替高	481	218	2,709	1,141	2,165	1,209	7,926	△7,926	—
計	74,528	34,005	8,574	4,333	8,741	3,501	133,685	△7,926	125,759
セグメント利益	13,918	334	3,122	15	385	139	17,915	39	17,955

(注)1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

(1) 平成30年3月期 第2四半期業績

①四半期連結損益計算書

(単位：百万円、単位未満切捨)

		当第2四半期 連結累計期間	前年同期	増減	増減率 (%)
鉄道事業	営業収益	39,817	38,304	1,512	3.9
	営業利益	10,435	9,887	548	5.5
バス事業	営業収益	22,717	22,171	546	2.5
	営業利益	3,041	3,207	△165	△5.2
タクシー事業	営業収益	11,993	11,278	714	6.3
	営業利益	440	515	△74	△14.4
運輸業	営業収益	74,528	71,755	2,773	3.9
	営業利益	13,918	13,609	308	2.3
流通業	営業収益	34,005	33,969	36	0.1
	営業利益	334	435	△101	△23.3
不動産業	営業収益	8,574	8,104	469	5.8
	営業利益	3,122	2,795	326	11.7
レジャー・サービス業	営業収益	4,333	4,793	△459	△9.6
	営業利益	15	62	△46	△74.4
建設業	営業収益	8,741	7,565	1,176	15.6
	営業利益	385	315	70	22.4
その他の事業	営業収益	3,501	2,134	1,367	64.1
	営業利益	139	△6	145	—
小計	営業収益	133,685	128,321	5,364	4.2
	営業利益	17,915	17,212	703	4.1
連結修正	営業利益	△7,926	△6,740	△1,185	—
連結	営業利益	39	40	△1	△4.1
	営業利益	125,759	121,580	4,178	3.4
営業外収益	営業外収益	10,592	10,097	494	4.9
	営業外費用	1,621	2,087	△465	△22.3
経常利益		26,925	25,263	1,661	6.6
特別利益		409	530	△120	△22.7
特別損失		1,005	561	444	79.2
税金等調整前四半期純利益		26,329	25,232	1,096	4.3
法人税	法人税等 同調整額	5,514	4,976	538	10.8
	計	83	221	△138	△62.3
四半期純利益		5,597	5,197	399	7.7
非支配株主に帰属する四半期純利益		20,731	20,034	696	3.5
親会社株主に帰属する四半期純利益		978	1,028	△50	△4.9
		19,752	19,005	747	3.9

	当第2四半期 連結累計期間	前年同期
営業外収益の主な内訳		
持分法による投資利益	9,686	9,057
営業外費用の主な内訳		
支払利息	1,375	1,798
特別利益の主な内訳		
工事負担金等受入額	407	381
特別損失の主な内訳		
事業撤退損	420	—

②鉄道事業 輸送人員及び旅客運輸収入内訳表(単体)

(単位：千人、百万円)

区分	当第2四半期 累計期間	前年同期	増減	増減率 (%)
輸送人員				
定期	85,983	83,896	2,087	2.5
定期外	59,110	57,638	1,472	2.6
計	145,093	141,534	3,559	2.5
(うち 成田空港発着)	9,955	9,197	758	8.2
(うち 有料特急)	2,706	2,441	265	10.9
旅客運輸収入				
定期	10,672	10,420	251	2.4
定期外	20,881	19,790	1,090	5.5
計	31,553	30,211	1,342	4.4
(うち 成田空港発着)	9,507	8,616	890	10.3
(うち 有料特急)	2,567	2,328	239	10.3

(注) 輸送人員：千人未満を四捨五入して表示しております。
旅客運輸収入：百万円未満を切り捨てて表示しております。

(2) 平成30年3月期 通期業績予想

①前期比較

(単位：百万円、単位未満切捨)

		今回発表予想	前 期	増 減	増減率 (%)
鉄道事業	営業収益	79,700	76,980	2,719	3.5
	営業利益	16,400	15,926	473	3.0
バス事業	営業収益	45,200	44,182	1,017	2.3
	営業利益	4,300	4,527	△227	△5.0
タクシー事業	営業収益	24,100	23,159	940	4.1
	営業利益	900	832	67	8.1
運輸業	営業収益	149,000	144,322	4,677	3.2
	営業利益	21,600	21,287	312	1.5
流通業	営業収益	69,400	68,415	984	1.4
	営業利益	700	921	△221	△24.1
不動産業	営業収益	20,600	17,457	3,142	18.0
	営業利益	6,600	5,621	978	17.4
レジャー・サービス業	営業収益	9,200	10,166	△966	△9.5
	営業利益	200	302	△102	△33.9
建設業	営業収益	24,200	21,673	2,526	11.7
	営業利益	900	1,500	△600	△40.0
その他の事業	営業収益	8,400	5,064	3,335	65.9
	営業利益	400	266	133	50.3
小 計	営業収益	280,800	267,101	13,698	5.1
	営業利益	30,400	29,899	500	1.7
連結修正	営業収益	△21,800	△21,264	△535	—
	営業利益	100	149	△49	△32.9
連 結	営業収益	259,000	245,837	13,162	5.4
	営業利益	30,500	30,048	451	1.5
経 常 利 益		45,000	47,064	△2,064	△4.4
親会社株主に帰属する当期純利益		32,000	35,711	△3,711	△10.4
(注) 持分法による投資利益		15,800	18,991		

②鉄道事業 輸送人員及び旅客運輸収入内訳表 (単体)

(単位：千人、百万円)

区 分	今回発表予想	前 期	増 減	増減率 (%)
輸 送 人 員				
定 期	168,068	164,250	3,818	2.3
定 期 外	118,486	116,034	2,452	2.1
計	286,554	280,284	6,270	2.2
(うち 成田空港発着)	19,912	18,624	1,288	6.9
(うち 有料特急)	5,498	5,018	480	9.6
旅 客 運 輸 収 入				
定 期	21,007	20,569	437	2.1
定 期 外	42,021	40,164	1,856	4.6
計	63,028	60,734	2,294	3.8
(うち 成田空港発着)	19,148	17,634	1,514	8.6
(うち 有料特急)	5,204	4,780	424	8.9

(注) 輸送人員：千人未満を四捨五入して表示しております。
 旅客運輸収入：百万円未満を切り捨てて表示しております。

③前回予想比較

(単位：百万円、単位未満切捨)

		今回発表予想	前回発表予想	増 減	増減率 (%)
鉄道事業	営業収益	79,700	78,400	1,300	1.7
	営業利益	16,400	15,400	1,000	6.5
バス事業	営業収益	45,200	44,700	500	1.1
	営業利益	4,300	4,300	—	—
タクシー事業	営業収益	24,100	24,200	△100	△0.4
	営業利益	900	900	—	—
運輸業	営業収益	149,000	147,300	1,700	1.2
	営業利益	21,600	20,600	1,000	4.9
流通業	営業収益	69,400	70,500	△1,100	△1.6
	営業利益	700	1,000	△300	△30.0
不動産業	営業収益	20,600	20,100	500	2.5
	営業利益	6,600	6,300	300	4.8
レジャー・サービス業	営業収益	9,200	9,200	—	—
	営業利益	200	200	—	—
建設業	営業収益	24,200	23,600	600	2.5
	営業利益	900	900	—	—
その他の事業	営業収益	8,400	8,400	—	—
	営業利益	400	400	—	—
小 計	営業収益	280,800	279,100	1,700	0.6
	営業利益	30,400	29,400	1,000	3.4
連結修正	営業収益	△21,800	△21,200	△600	—
	営業利益	100	100	—	—
連 結	営業収益	259,000	257,900	1,100	0.4
	営業利益	30,500	29,500	1,000	3.4
経 常 利 益		45,000	44,300	700	1.6
親会社株主に帰属する当期純利益		32,000	32,000	—	—
(注) 持分法による投資利益		15,800	16,300		